

第 19 回西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会 議事録

日 時：2016 年 3 月 30 日（水） 午後 2 時～午後 4 時

場 所：グリーンルーム（あおぞらビル 3F）

出席者：近畿地方整備局・大阪国道事務所（8 人）、阪神高速道路株式会社（5 人）

原告団：森脇、上田、永野、平田、前田他（20 人） 弁護団：津留崎、村松、早川、中道 あおぞら財団：藤江他（6 人）

参加者数：39 人

-
1. 原告団団長（森脇さん）あいさつ
 2. 被害者の訴え（平田さん、前田さん）
 3. 国土交通省からの資料説明（国土交通省・阪神高速道路：資料①大阪市西淀川区 大気の状態、資料②国道 43 号 大型車交通量の推移、資料③ 国道 2 号歌島橋交差点交通量調査結果、参考資料 環境ロードプライシング及びエコドライブ 現地広報について）
 4. 原告からの提案（西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会資料）
 5. 意見交換
 - (1) 環境ロードプライシングについて
 - ・企業へのアンケート調査から、国道 43 号から湾岸線に交通量が転換する余地があることがわかった。ドライバーや企業へのはたらきかけをもっとしていきたい。（国交省）
 - 広報だけではインパクトとして弱い。もっと知恵をしぼって環境ロードプライシングを徹底させるべきではないか。経済的な面でプラスになるような、場合によってはもっと財政投入の問題を含めて、もっと思い切ったことをしないとイケないのではないか。（原告団）
 - (2) 歌島橋交差点について
 - ・歌島橋交差点の渋滞は解消されていないように思う。（原告団）
 - 歌島橋交差点の渋滞に関しては、地下道を設置する前と後では、明らかに大きく差が出ているが、渋滞が実態として残っているというのは事実だと思う。国道 43 号から湾岸線へ転換をはかることで減らすことができると思う。（国交省）
 - ・歌島橋交差点に横断歩道をつけてほしい。歌島橋交差点の横断歩道整備については、患者会を説得できるような説明をしてほしい。
 - (3) 大気環境について
 - ・今日聞いた話ではよくなっているということだったが、私自身はそういう感覚がない。大型車もたくさん通っている。歩きながら何回も休憩しないとイケない（原告団）
 - いろんなご意見を真摯に受け止めて沿道環境の改善に努めて行きたい。二酸化窒素の濃度を 0.04ppm 以下にするというご指摘は以前から受けているので、それを達成したいと考えている。（国交省）
 - (4) ワーキングについて
 - ・大気汚染と交通量の関係を見ていきたい。先日の阪神高速道路湾岸線の工事期間中の大気の状態に関するデータももらいたい。尼崎や名古屋など他地域の事例の分析結果も示してほしい。（原告団）
 - ・他の地域のデータを取り寄せて、どういう施策をすることで大気が改善するのかということを見ていきたい。ワーキングの中で継続して議論していきたい。（国交省）
 - ・もっと詳細な分析をしていくために、大規模な調査をしてほしい。（原告団）
 - ・一年間で分析が進んだ部分もある。今後も調査を継続してやっていきたい。（国交省）

（文責 谷内）